

研究背景

- 自動車の電動化による車室内の低騒音化
→サウンドデザインのニーズが高まっている
- 感性に頼ったサウンドデザインが主流
→物理特性に基づいた事例は少ない
- 車室内の状況によって、印象が変化する
→座席ごとに寄与度の高い物理特性を把握

物理特性や環境に基づいたサウンドデザイン

研究目的

付加するEVサウンドの構築

マルチモーダル

走行中における
複合刺激の影響

車種の特徴

時間周波数データ
心理音響メトリクス

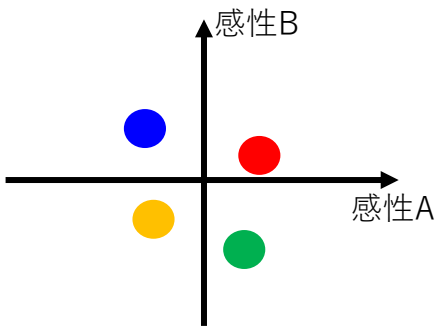


マルチモーダルを考慮したEVサウンドの創出

研究内容

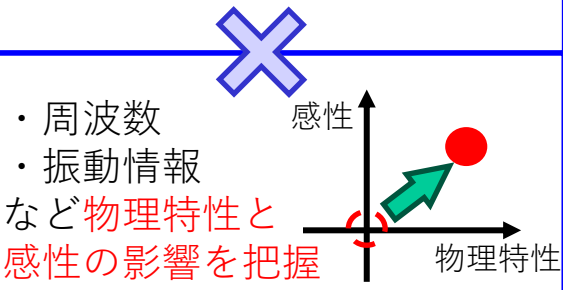
サウンドデザイン手法

- ・感性サウンドマップ
 - ・特徴分析
- による手法の検討



マルチモーダルの検討

- ・運転操作
 - ・視覚刺激の有無
- など座席ごとの
印象変化を把握



EVサウンドの創出

- マルチモーダルに基づく
サウンドデザイン
→座席に合わせた検討
- 実験計画法における
パラメータスタディ
→物理特性の変化を考慮した
EVサウンドの検討
- 検証実験

